

新しい時代に願いをこめて…

～新天皇誕生で時代が変わる?!～

天皇を敬い、神として迎える…。神話の国・日本には、そんな敬虔な思想があります。それは天皇に限らず、この世界に存る「全てを超越した存在」を意識し、尊崇の念を捧げる思想です。

さて、古来より、日本人は天皇を国家の中心に据え、精神的支柱としてきました。その天皇が、来年退位され新天皇が誕生します。平成の世が終わろうとする時代の節目を迎え、日本はどう変化していくのでしょうか…。

今回は、あかね先生が日本人の「天皇観」を軸に、新しい時代がどう変わっていくかを読み解きます。神代の国、日本の未来に注目あれ！

あかね☆開運塾

サルサ読者の皆さま、こんにちは。占い師のあかねです。

年末が近付き、いよいよ平成の終わりを実感しますね。元号が変わるといつても、生活が大きく変わるわけではありません。「新しい元号は何かな？」と、皆で推測するにすぎないかと思えます。

しかし、元号が変わるといことは、ご存知のとおり、現在の天皇が退位して新天皇が誕生することです。

では、「天皇が変わる」とは何を意味しているのでしょうか。

国の象徴である天皇が変わることは、国の運勢が変わることです。国の運勢というが大袈裟に聞こえるかもしれませんが、そうではありません。今まで日本史で学んできたことを思い出してみてください。

歴史は、天皇の交代に伴い太平の世をむかえたり、争いが起きたりしたことを教えています。つまり、そのような時代背景が国を左右してきたということです。

ということ、今回は天皇退位に合わせて、今一度天皇の起源を知り、未来の私た

ちの在り方を考えてみたいと思います。

現在の天皇は、初代の神武天皇から数えて第125代目の天皇です。

古事記によると、初代天皇は「イワレビコ」とも呼ばれ、天照大神（アマテラスオオミノカミ）の子孫です。天照大神は、神様の中でも太陽神です。

つまり、天皇は、太陽神の子孫といえます。では、「天皇は神様なのか？」との疑問が生れますが、古事記によると、天皇は、「神様がいる自然界」と「人間界」の中間にあつて、それらを繋ぐ存在であるようです。

では、古事記の記述をもとに、日本各地に今でも残る神様の伝説をひも解いてみたいと思います。

1 宮崎県 高千穂

天照大神の孫であるニギノミコトが天界から地上に舞い降りて、そこから日本の統治が始まった…。

このように、高千穂にはいわゆる「天孫降臨」伝説があるので、今でも神話と伝説の宿る町と呼ばれています。

2 島根県 出雲大社

大国主神（オオクニヌシノミコト）が出雲の国を支配していたところ、太陽神である天照大神から、出雲の国を譲れと命じられました。そこで交渉役として使わされたのがタケミカヅチノカミです。

大国主神は、「国を譲ってもいいけれど、条件として、引退後の立派な神殿を建てて欲しい」といいました。これが「出雲大社」創建の起源だといわれています。

3 山梨県 北口本宮富士浅間神社

地上に降り立ったニギノミコトは、浜辺で美しいコノハナサクヤヒメに出会います。ニギノミコトは一目ぼれして妻にしようと思いました。

翌日、コノハナサクヤヒメは子供を授かったといいますが、ニギノミコトは自分の子供であることを疑います。怒ったコノハナサクヤヒメは…。

「もし、この子が天の神であるニギノミコトの子供であるならば、火の中で無事に産まれるだろう…」

といい、産屋に火をつけて火中で出産します。

こうして、無事に三人の子供が産まれました。そのため、浅間神社の神徳は、火伏（ひふ）せ・安産・災厄除け・産業守護といわれています。また、火中で出産したコノハナサクヤヒメになぞらえて「吉田

の火祭り」がおこなわれたといえます。

さて、古来より日本には「亡くなった先祖は、皆、神になる」という思想があります。そういう思想を背景として、実際の天皇がご祭神になっている神社があります。

初代天皇が天孫降臨を果たしたニギノミコトの孫にあたる考えると、「天皇が天皇としての使命を終えたら神になる」という思想が根付いても不思議はありません。その実例として、天皇が祭神となっている神社を挙げると…

◆ 東京都 明治神宮 ◆ 明治天皇

◆ 京都府 平安神宮 ◆ 桓武天皇・孝明天皇

◆ 島根県 隠岐神社 ◆ 後鳥羽天皇

などがあります。この他にも全国で20カ所ほどの神社が天皇を祭神として祀っています。

以上のことから、天皇と神の関係性の深さがうかがえると思います。

そして、「私たちがいる世界」と「神宿る自然界」が共に在ることも納得できます。そのうえで、両者のバランスが大切であることを考えさせられます。

近年は、大自然災害が当たり前のようになっています。これを「神の怒りだ…」なんてことはいいませんが、人間と自然界のバランスが崩れてきたことは、皆さんも感じているのではないのでしょうか。

さて、冒頭のお話に戻りましょう。天皇が変わるといことは時代が変わると

いうことです。

風水では、2024年からは「第9運」といい、新しい時代が始まると考えられています。そして、それを「最終期」と呼んでいます。

最終期は、時代の終わりという意味ではありません。最終期は今までの結果であり、終わりを告げて新しいことがはじまると捉えられています。

その第9運は20年間続きます。そして、2044年からは、第1運の時代がはじまります。そのころはまた、時代の傾向が変わってくるでしょう。

あかねの願い

私たちの多くが経験する近い未来、第9運の時代の意味は、「太陽」「文明・発明・新しい知識」「別離・再生」「精神」です。

このことから、文明・発明により、物質的な満足感は充分に求められるようになります。

そして、人々はより「精神面」の充実感を模索するでしょう。その結果、自然保護にも力を注ぐことにもなるかもしれません。

その結果として、再び、「人間と神宿る自然との調和が図れるようになる…」と私は願っています。



指導・監修／占い師 あかね先生 愛知県在住

◇四柱推命 ◇風水師 ◇一般健康管理指導員 ◇『茜堂』主宰

四柱推命・タロット・風水等を学び、独立する。お客様の知りたいことに対して占術を使い分けて、わかりやすくアドバイスしている。相手の気持ちや悩み、心や性格の深層部分までリーディングする鑑定や、仕事・転職のタイミング・旅行の方角から時期まで、運氣上昇についての占いが好評を得ている。一般健康管理指導員の資格を取得して、先天的に注意する健康や、後天的な健康に対するアドバイスは的確。四柱推命・風水教室も開催している。

■公式ホームページ

<http://akanedou.chu.jp> 「愛知県 あかね占い師」で検索